

徳島大学 国際センターニュース

<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>

No.14

2010.6

国際センター長からのごあいさつ



国際センター長 福井 清

香川征学長が率いられます徳島大学新執行部体制のもと、この度4月1日付で国際センター長に就任致しました。本学の国際化推進の重責に身の引き締まる思いであります。

平成20年12月に国際センターとして、改組されました当センターは徳島大学における国際戦略事業の実施推進本部であります。その mission は、徳島大学の国際交流事業を全学的な観点から推進し一元的に管理すること、徳島大学を拠点とする Global and Local Network

of Excellence を形成すること、日本人学生と留学生のグローバルで卓越した知の出会いの場を創出すること、にあると考えております。

本学国際化ポリシーに謳われております基本理念「徳島大学は、世界に通用する人材の育成と教育研究の向上に大学全体として組織的に取組むとともに、地域に根ざした国際交流活動を展開し、同時に学生および教職員の国際化意識の向上を推進することにより“世界に開かれた THE UNIVERSITY OF TOKUSHIMA”の実現を目指します」に基づき、センター教職員並びに国際課の皆様と心をつなげて、本学国際化推進に邁進する決意でございます。

大学時代に修得すべき大切なこととして、次の3つのことを講義の冒頭に学生さんにはお伝えしております。

1. Communication Skills (グローバルリテラシー)、2. Culture (教養)、3. Calling (天職)。

徳島大学の学生を21世紀の世界をリードする国際競争力ある高度な人材として育成するためには、まず語学力の向上が必須の課題であると考えられます。とくに発信型言語能力の強化が最重要であります。本年度は海外語学研修プログラムへの参加を積極的に推進するため、米国 Southern Illinois 大学の夏季英語研修とニュージーランド Auckland 大学の春季英語研修を国際センターが主催する全学の語学研修プログラムとして実施致します。ややもすると内向きであると経済界から評価される昨今の日本人学生の、内なる魂に宿る高い志とポテンシャルを世界に発信すべく、海外派遣プログラムの充実と開発を積極的に行っていきたいと考えております。

“To be international, be national !” の言葉には、国際人として如何に生きるかのエッセンスが凝縮されていると思います。260名を超える多様な留学生が学び研鑽するキャンパスが真に国際的であるかは、日本人を含む全ての構成員が、それぞれの民族・国家の文化と歴史そして言語を基盤とする各々のアイデンティティーを確立し、誇りを持って大学生活を送り、活動することがまずもって肝要な礎であると考えます。日本人学生の教養教育における日本学の確立、そして専門教育・大学院教育の英語特別プログラムやサマースクールにおける留学生と相互に切磋琢磨する教育研究環境の整備を大切な柱として、さらなる充実を図りたいと願っております。

最後に、本学で学びの場を得られた学生の皆様が日本人学生・留学生を問わず等しく世界に通用する国際競争力ある人材として、国家・社会の様々な現場で活躍されますよう努力を続けたいと思っております。一生を貫く天職を世界で全うされることを祈り願いつつ、国際センターの mission を遂行して参る所存です。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

外国人卒業生とのネットワーク

今回取り上げる「外国人卒業生とのネットワーク」は、平成20年7月に公表された「留学生30万人計画（骨子）」の中でも重点項目の一つとして取り上げられており、本学においてもネットワーク構築のために様々な活動を展開しています。

「徳島大学卒業留学生同窓会」

これまで、徳島大学を卒業又は修了した留学生や元徳島大学外国人研究者らによる「徳島大学卒業留学生同窓会」の設置を進めてきましたが、結果、2008年には中国の上海にて、また、2009年には韓国の釜山にて、各同窓会組織を立ち上げることができました。

現在のところ、中国同窓会は張辰宇教授（南京大学生命科学院長）を会長とする11名の役員を中心に組織が構成されており、6つの支部（北京支部、上海支部、中西南支部、東北支部、山東支部、西安支部）と上海同窓会事務局を拠点に中国人卒業生・研究者との人的ネットワーク構築を展開しています。一方、韓国同窓会に関しては、金允海教授（韓国海洋大学校工学教育革新センター長）を会長とする11名の役員から成る同窓会組織が中心となり、同海洋大学校内に設置されている同窓会事務局を拠点に韓国人卒業生・研究者との人的ネットワーク構築を進めています。

また、本学からは香川征学長が各卒業留学生同窓会の顧問として、また、福井清教授（徳島大学国際センター長）と金成海教授（徳島大学国際センター）が副顧問として各同窓会に参加することで、両同窓会との緊密な連携を実現し、国際交流を積極的に展開するための体制を整えています。

徳島大学卒業留学生同窓会

卒業留学生同窓会(中国)

会 長 張辰宇教授
南京大学生命科学院長

副会長 4名 **幹 事** 3名

事務局 上海市内

卒業留学生同窓会(韓国)

会 長 金允海 教授
韓国海洋大学校工学教育革新センター長

副会長 4名 **幹 事** 3名

事務局 同海洋大学校内

徳島大学

顧 問 香川征 学長

副顧問

福井清 国際センター長
金成海 国際センター教授



徳島大学卒業留学生同窓会(中国)設立祝賀会
2008年11月30日 上海 華亭賓館

❖ 「徳島大学卒業留学生同窓会(中国)」組織 ❖

役員	会 長	張 辰 宇	南京大学生命科学院 院長 教授	(医学博士)
	副 会 長	滿 志 偉	大塚製薬研 (北京) 有限公司 総経理	(歯学博士)
		孫 洪 波	吉林大学電子学院 院長 教授	(工学博士)
		何 晨	上海交通大学 教授	(工学博士)
		姚 登 福	南通大学 教授	(医学博士)
		胡 海 青	西安理工大学 教授	(工学博士)
	幹 事	符 泳	南通天星靴業有限公司 取締役	(経済学博士)
		馬 陝 峰	同济大学地下建築与工程系 副教授	(工学博士)
	顧 問	香 川 征	徳島大学学長	
	副顧問	福 井 清	徳島大学国際センター長	
		金 成 海	徳島大学国際センター 教授	
北京支部	支部長	滿 志 偉	(役員兼任)	
	幹 事	王 亜 雄	芸術家	(人文学修士)
上海支部	支部長	刘 钊	上海交通大学 教授	(工学博士)
	幹 事	符 泳	(役員兼任)	
		馬 陝 峰	(役員兼任)	
中西南支部	支部長	張 辰 宇	(役員兼任)	
	幹 事	張 欽 宇	哈爾濱工業大学 深圳分校 教授	(工学博士)
		陳 淑 莉	深圳医院小儿科主任 教授	(医学博士)
		蘇 立	滁州学院 副教授	(工学博士)
西安支部	支部長	胡 海 青	(役員兼任)	
	幹 事	周 飛	西安工程大学 副教授	(工学博士)
		阿里木 Alim Patar	新疆医科大学公衆衛生学院 副教授	(栄養学博士)
山東支部	支部長	董 倩	青島大学医学院附属医院 副院長 教授	(医学博士)
	幹 事	王 洪 偉	青島大学 副教授	(工学博士)
		李 偉 兵	青島科技大学 副教授	(工学博士)
東北支部	支部長	孫 洪 波	(役員兼任)	
	幹 事	劉 曉 星	大連海事大学環境科学与工程学院 教授	(工学博士)
		張 池 平	哈爾濱工業大学工業大学 教授	(工学博士)
		王 斐	東北大学 副教授	(工学博士)

事務局／南通天星鞋业有限公司 上海事所（上海市大连路 1288 号 5 号楼 1701（和平花苑））

❖ 「徳島大学卒業留学生同窓会(韓国)」組織 ❖

役員	会長	金 允 海	韓国海洋大学校工学教育革新センター長 教授	(工学博士)
		李 海 衡	檀国大学校 歯学部教授	(歯学博士)
	副会長	柳 浩 成	水源歯科病院 院長	(歯学博士)
		李 相 坤	全州大学校 情報工学科 教授	(工学博士)
	幹事	奇 成 燮	韓国エネルギー技術評価院 主任研究員	(工学博士)
		金 動 勲	韓国海洋大学校 研究員	(工学博士)
		辛 道 勲	韓国大韓航空 研究院	(工学博士)
		李 溶 培	韓国特許庁 審査官	(工学博士)
	顧問	香 川 征	徳島大学学長	
	副顧問	福 井 清	徳島大学国際センター長	
		金 成 海	徳島大学国際センター 教授	

事務局／ 1Dongsam-dong Yeongdo-Gu, Busan 606-791, South Korea
韓国海洋大学校工学部 複合材料研究室

2009 年度 第 6 回 国際展開推進シンポジウム

2004 年から開催している「国際展開推進シンポジウム」も今年で 6 回目となりましたが、この 3 月 2 日(火)午後 3 時～5 時にかけて、無事阿波観光ホテル 4 階ホールで無事執り行うことができました。

このシンポジウムには、例年、本学を卒業した留学生を招いているのですが、今回は、4 名の卒業留学生にお越し頂き、

- (1)「研究の出発点—徳島」(刘兴钊教授：上海交通大学電気電子情報工程学院副院長)
- (2)「今までと今からの中国医療と日中京好への貢献—徳島大学に留学してからの成長—」
(董倩教授：青島大学医学部附属病院副院長)
- (3)「徳島大学留学の誇りを持って」(馮滅氏：Third Wave Technologies)
- (4)「工学教育の国際化」(金允海教授：韓国海洋大学校工学教育革新センター長)

についてご講演頂きました。

例年開催している本シンポジウムですが、上記の「徳島大学卒業留学生同窓会」との関わりも深く、今回のシンポジウムには中国同窓会上海支部・山東支部より刘兴钊教授と董倩教授に、韓国同窓会より会長である金允海教授にご参加いただき、本学との今後の交流に関するビジョンなどについてフロアーの方々と積極的な意見交換を行っていただきました。

ご参加頂いた演者の皆さま、ならびに関係者各位の皆様に厚く御礼申し上げます。



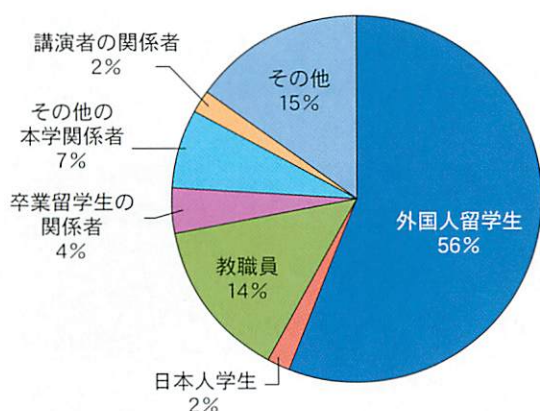
第6回国際展開推進シンポジウム アンケート結果概要と今後に向けて

本アンケート調査への参加者は66名、アンケート回収率は83%であり、多くの参加者から貴重なご意見を頂くことができました。

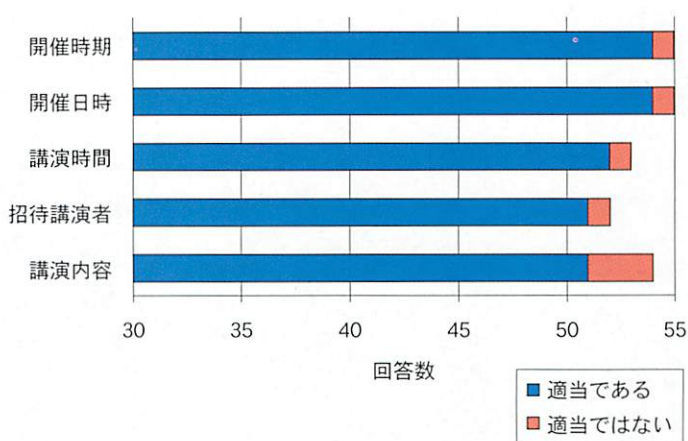
今回参加して頂いた方の7割以上が学内関係者であり、次回以降は、学外からも多くの方に参加して頂けるよう学外への参加案内を強化する必要があると思います。開催スケジュール、講演者及び講演内容については、9割以上の回答者が「適当である」を選択されました。しかし、講演者の専門分野、性別及び徳島大学に滞在した経緯の偏りを指摘するご意見も多く見受けられました。今後は、幅広い分野から講演者を招聘するとともに女性講演者を検討していく必要があると思います。

最後になりましたが、本シンポジウムに参加して頂いた皆様及び関係者各位に厚く御礼申し上げます。

第6回国際展開推進シンポジウム
アンケート回答者の内訳



第6回国際展開推進シンポジウム
開催スケジュール及び講演の評価



卒業生との Network : これからの活動

1. 卒業留学生データベース

本学卒業(修了)留学生との連携を強化するため、昨年度の学長裁量経費により「徳島大学卒業留学生データベースシステム(The University of Tokushima International Alumni Directory)」を構築し、今年7月からの運営に向けて最終的な準備を進めています。

本システムでは、メールの一括送信、BBSなどの機能により情報の提供・共有が可能となっており、卒業(修了)留学生が本システムに情報を登録し、自分の情報を閲覧・更新することが出来るようになっていきます(個人情報の公開項目を限定することも可能)。また、特定のキーワードにより他のユーザを検索し、メールフォーム経由でメッセージを送信することも可能となっていますので、ユーザ同士が円滑にコミュニケーションをとることができるようになっています。

学内の教職員も特定のユーザの情報を閲覧することが出来ますので、「卒業生との連絡を取りたい」と考えている先生方にも、是非、ふるってご活用いただければと考えております。



卒業留学生データベース
スクリーンショット

2. 卒業生との交流活動

上海同窓会の3ヶ月後の2009年3月8日～15日(8日間)の日程で本学学生12名が「武漢・上海訪問交流研修―朋友になろう―」を行いました。前半の協定校である武漢大学への訪問後、上海滞在の5日間は本学同窓生が勤める大学の



▲上海财经大学での交流

の学生との交流を行いました。東華大学の王蕾先生と及び上海财经大学の米英麗先生(お二人とも徳島大学卒業後、各大学で日本語学科の教員として活躍中)の受け入れで実現が可能となったわけです。両学の日本語学科の学生との交流は、グループに分かれてのキャンパス案内にはじまり、日本人学生による日本語劇と中国語の歌の披露、さらに中国人学生の歌や踊り等の文化交流、最後には上海の地元の学生ならではの町案内へと進みました。観光では体験できない、人と人との交流を目指した訪問研修が実現できました。(詳細は国際センター紀要5号参照のこと、また参加者の報告文集もご覧ください)

また、今年7月には同じく同窓生の劉玉琴先生を中心に大連理工大学の日本語教員が来徳し、特に日本語・日本語教育関連の講義や徳島文化体験のサマープログラムを予定しています。今後も同窓生との確実な連携を通して研究及び人と人との交流を実施していきます。



▲東華大学での交流



その他 (国際センター・国際課からのお知らせ)

1. 韓国海洋大学との交流

この程、徳島大学では、長年に亘り教員や学生の交流の実績があり、学術交流協定校でもある韓国海洋大学校から、練習船ハンバダ号(約6700トン)の訪問を受け、両大学間の国際交流プログラムを実施しました。

同練習船には、呉総長ら約150人の教職員、実習学生、乗組員らが乗船し、5月19日午後2時、航海実習の最初の寄港地として徳島県の小松島新港1万トン岸壁に接岸しました。当日夜には、同練習船上において呉総長主催の船上レセプションが開催され、徳島大学の香川学長をはじめとした本学教職員と学生、徳島県や小松島市の関係者、そして国際交流団体の一



▲韓国海洋大学校練習船「ハンバダ号」

般市民らが招待され、船上での交流を深めました。

今回の国際交流プログラムでは、5月20日・21日の2日間にわたり同練習船を会場に「人の健康と地球の健康を考える洋上教育研究交流会・企業交流会」をテーマとした「国際シンポジウム」と県内企業の取り組みと紹介を行う「企業交流会」、21日には両大学の学生による「スポーツ交流会」のほか、両大学の事務職員の交流会を実施しました。

このうち、洋上シンポジウムでは、人の健康や地球の環境に関する招待講演や両大学の工学部、総合科学部、国際学



▲洋上教育研究交流会・企業交流会参加者一同

部、医学部、歯学部、薬学部等の教職員・学生、そして中国、台湾、ニュージーランドなど海外の交流協定校から参加した研究者らが延べ約40題の研究成果と約50題のポスター発表を行いました。

特に、医学系や工学系などの研究者が一堂に会した研究発表の機会は少なく、互いの研究分野について理解を深める良い機会となるなど大変有意義な国際シンポジウムとなりましたが、今後は、今回のシンポジウムを基盤とした新たな研究交流の展開が期待されています。

最終日には、香川学長主催による情報交換会を徳島市内の会場で開催し、次回の再会を誓って全プログラムを終了しました。

2. 機関保証制度について

このたび、徳島大学では、留学生が民間アパートを借りる場合に、徳島大学(国際センター長)が、連帯保証人となる「徳島大学留学生機関保証制度」を始めました。この制度を利用するには、留学生本人が徳島大学に在籍し、財団法人日本国際教育支援協会の「留学生住宅総合補償」に加入していることが必要です。

◆ 徳島大学留学生機関保証の申請手続き方法

- ① アパートを探す。
不動産業者（もしくは大家）から「賃貸契約書」を入手する。保証人は空欄にしておく。
- ② 「留学生住宅総合補償」に加入する。
「留学生住宅総合補償」への加入用紙を、国際課国際交流係（常三島地区）、または所属している教務係（蔵本地区）で入手し、ゆうちょ銀行から保険料を支払う。（受領書は必ず保管しておくこと！）
- ③ 「徳島大学留学生機関保証申請書」、「誓約書」を国際課国際交流係（常三島地区）、または所属している教務係（蔵本地区）で入手し、必要事項を記入する。
- ④ 以下の書類を提出する。（提出先は次項を参照）
 - ・「留学生住宅総合補償」振替払込請求書兼受領書（上記②受領書）
 - ・「留学生住宅総合補償」加入者名簿（提出先で記入）
 - ・「徳島大学留学生機関保証申請書」
 - ・「誓約書」
 - ・「賃貸契約書」
- ⑤ 大学側が契約書などを審査し、徳島大学国際センター長が連帯保証人として賃貸契約書を作成する。
- ⑥ 賃貸契約書を提出先で受け取り、不動産業者（もしくは大家）に提出する。
- ⑦ 後日、大学より留学生住宅総合補償加入金の返還を受ける。

◆ 申請書類の提出先

常三島地区の留学生
蔵本地区の学生

国際課国際交流係
所属している学部の教務係（留学生担当係）

◆ 注意事項

- * 本学在籍者であっても、休学中または長期欠席中の者は対象とならないことがあります。
- * 機関保証を受けた留学生は、卒業、修了、退学時に届け出が必要です。その他、申請内容に変更があった場合も届け出が必要です。注意してください。
- * 賃貸借契約期間の更新をする場合は、再度申請手続きが必要です。

3. 入管法の改正について

平成 21 年の通常国会において、「出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律」（以下「改正法」といいます。）が可決・成立し、平成 21 年 7 月 15 日に公布されました。

改正法においては、在留カードの交付など新たな在留管理制度の導入を始めとして、特別永住者証明書の交付、研修・技能実習制度の見直し、在留資格「留学」と「就学」の一本化、入国者収容所等視察委員会の設置などが盛り込まれています。

新制度の内容・導入時期等の情報につきましては、国際課国際交流係より随時お知らせする予定です。

【入国管理局ホームページ】 <http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact/newimmiact.html>

4. 2010 年度短期海外派遣語学研修プログラム（アメリカ）の実施について

去る 5 月 12 日（水）に開かれた「留学生委員会」において、例年実施しております「短期海外派遣語学研修プログラム（アメリカ）」が、本学における派遣留学事業の一環として正式に承認されました。

参加者の募集は 6 月 18 日（金）で締め切りましたが、総合科学部 3 名、医学部栄養学科・医学科から各 1 名（合計 5 名）の応募がありました。

派遣先・派遣日程などの詳細は、以下のとおりです。

【派遣先】

Southern Illinois University, Center of English as a Second Language (CESL)
Faner Hall 3242 - Mail Code 4518, Southern Illinois University Carbondale, 1000 Faner Drive, Carbondale, Illinois 62901
TEL: 618-453-2265 / FAX: 618-453-6527
<http://cesl.siu.edu/>

【派遣期間】 2010 年 8 月 21 日（土）～ 9 月 26 日（日）

8 月 21 日（土）	関西空港発
8 月 22 日（日）	研修先（南イリノイ大学）着
8 月 23 日（月）	研修開始
9 月 24 日（金）	研修最終日・セントルイス泊
9 月 25 日（土）	現地発
9 月 26 日（日）	関西空港着

* 今年度は、海外での危機管理をより円滑に進めるため、旅行業者との「企画旅行」という形で研修を実施するようにしています。

* 本研修に対しては、本学学生後援会より3万円の支援金が援助されます。この場を借り、お礼申し上げます。

5. 2010年度 国際センター・国際課関連 行事予定

実施月日	行 事 名 称	備 考
4 月	日本語研修コース（大学院入学前予備教育）開講式 9 日	
	新入留学生ガイダンス 22 日（常三島）、23 日（蔵本）	
	English Chat Room（前期）開始 22 日	毎週火・木開催
5 月	全学日本語コース開始（常三島地区・蔵本地区） 10 日	
	国際交流サロン「日本語でしゃべらんでーお餅をついてみよう」 15 日	
	韓国海洋大学演習船「ハンバダ号」来徳 19 日	
	国際シンポジウム@ハンバダ号 20 日・21 日	
	短期海外派遣語学研修プログラム（アメリカ）説明会 31 日・6 月 1 日	
6 月	新入留学生フォローアップガイダンス	
	国際交流サロン「日本語でしゃべらんでー折り紙をしよう」 12 日	
	学生サポーター説明会 16 日	
	短期海外派遣語学研修プログラム（アメリカ）募集締め切り 18 日	
7 月	外国人学生のための進学説明会（東京会場） 11 日	
	海外留学説明会（日本人学生対象） 15・16 日	
	大連理工大学日本語教員研修受け入れ 17 日～25 日	
	外国人学生のための進学説明会（大阪会場） 18 日	
	外国人による日本語弁論大会（あわ銀ホール） 19 日	徳島県国際交流協会との協賛
	English Chat Room（前期）終了 20 日	
	ヘルス・バイオサイエンス サマープログラム 25 日～8 月 1 日	
8 月	ソシオ・サマースクール 1 日～7 日	
	IT 技術・日本文化サマープログラム 4 日～13 日	
	国際交流サロン「日本語でしゃべらんでー浴衣を着て阿波踊り」 7 日	
	春期日本語研修コース修了式 10 日	
	徳島文化体験交流会（阿波踊り）	徳島県国際交流協会との協賛

実施月日	行 事 名 称	備 考
8月	短期海外派遣語学研修プログラム（アメリカ） 21日～9月26日	
	日本文化体験交流会（伊方原発見学含む）	四国電力の支援により実施
9月	国際交流サロン「日本語でしゃべらんでー日本人と友達になろう」 25日	
10月	日本留学フェア（インドネシア） 2日・3日	
	新入留学生ガイダンス	
	秋期日本語研修コース開講式	
	全学日本語コース開始（常三島地区・蔵本地区）	
	English Chat Room（後期）開始 12日	毎週火・木開催
	ホストファミリー事業	徳島県国際交流協会との協賛
	多文化体験交流会	
	国際交流サロン「日本語でしゃべらんでー書を楽しもう」 30日	
11月	徳島地域留学生交流推進協議会会報（「かずら橋」） WEB公開	毎年1回発行
	徳島地域留学生交流推進協議会運営委員会	同推進協議会主催
	国際交流サロン「留学生の国への誘いー日本語による留学生のお国紹介」 27日	
12月	実地見学旅行	
	国際交流サロン「日本語でしゃべらんでー茶道を楽しもう」 11日	
1月	外国人留学生スキーツアー	鳥取県 氷ノ山スキー場
	徳島地域留学生交流推進協議会	同推進協議会主催
	English Chat Room（後期）終了 25日	
	国際交流サロン「日本語でしゃべらんでー世界の料理を楽しもう」 22日	
2月	国際交流サロン「着物の歴史ー着物を着てみよう」 5日	
	短期海外派遣語学研修プログラム（ニュージーランド）	
3月	秋期日本語研修コース修了式	
	国際展開推進シンポジウム	徳島大学国際連携推進室企画
	外国人留学生交流懇談会	徳島大学長主催
	国際交流サロン「日本語でしゃべらんでー雛壇を飾ろう」 26日	

新任職員一覧



研究国際部長 竹田 和彦

皆さん、こんにちは。本年4月より研究国際部長として徳島大学に着任しました竹田和彦と申します。微力ながら本学の国際化の推進に精一杯努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



国際交流係長 藤川 王男

4月に国際交流係に参りました。業務については、まだ勉強中ですが、留学生の立場に立って仕事をしたいと思いますので、よろしくお願い致します。



国際企画係 有賀なぎさ

今年4月に国際企画係へ異動になりました。

徳島大学の国際化のために、少しでもお手伝いができたらと思います。よろしくお願い致します。



国際企画係 宮城 千穂

4月から新蔵の国際課国際企画係で勤務している宮城千穂です。英文作成や日亜会館留学生宿舍の事務補助などを担当しています。よろしくお願い致します。



国際交流係 藤村 悦子

4月から国際交流係で勤務している藤村悦子です。仕事にも少しずつ慣れてきて、毎日楽しく仕事をしています。まだまだ未熟ですが、よろしくお願い致します。



国際交流係 山本 裕子

毎日、たくさんの留学生が訪れる職場にも少しづつ慣れてきました。留学生のみなさんが充実した大学生活が送れるようにサポートしたいと思います。



本学の国際交流事業の推進のために、様々な企業の皆さまからご支援を頂いております。この場をお借りいたしまして、お礼申し上げます。

【徳島大学国際交流資金 寄附企業一覧】(50音順)

株式会社 阿波銀行 様
阿波銀リース 株式会社 様
大塚製薬 株式会社 様
株式会社 大塚製薬工場 様
四国化工機 株式会社 様

日亜化学工業 株式会社 様
日本フネン 株式会社 様
ノヴィル 株式会社 様
財団法人 藤井節郎記念
大阪基礎医学研究奨励会 様



発行日：2010年6月30日

発行 徳島大学国際センター
住所 徳島県徳島市新蔵町2丁目24
徳島大学地域・国際交流プラザ
(日亜会館) 2階
Tel. 088-656-7082
<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp>